

2018年度 高知大学 課題探求実践セミナー（国際協力入門）
 ～ 四国から世界へ 持続可能な社会づくりに向けて ～

No.	月日	講義名	主な内容	担当講師(所属先・役職名)	関係県
1	5月21日	「協力」の意味を考える JICAの取り組みを知る	「協力する」とはどういうことか。各自の体験から振り返ります。また、海外での協力・ボランティアと国内での協力・ボランティアのつながりを考えます。	杉尾智子(JICA四国・高知推進員) 石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
2		国際協力ワークショップⅠ	学生でもできる国際協力はたくさんあります。具体的な活動事例を通じて、自分でできる、高知でできる協力の意味を考えます。		
3	5月28日	地域での「協力」のあり方考える	国内でもできる国際協力はたくさんあります。ここでは具体的な活動事例を通じて、自分でできる、高知でできる協力の意味を考えます。	澤田佳子(高知地域猫の会・代表) 学生団体 国際茶屋、コンパス	高知
4		国際協力ワークショップⅡ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
9	6月4日	アフリカ支援と地域とのつながり	アフリカ・ガーナでの青年海外協力隊の活動と、それを活かして現在行っている「グローバル協力隊」としての活動のお話を通じて、国際協力と地域協力のつながりを考えます。	坂田実緒子(特定非営利活動法人 NPO砂浜美術館、グローバル協力隊)	高知
10		国際協力ワークショップⅤ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
7	6月11日	東南アジアにおける国際協力	ラオスにおける現状から、国際協力のあり方、地域と国際社会における市民社会の構築、ボランティアの意味を考えます。	蓮井孝夫(特定非営利活動法人香川 国際ボランティアセンター・会長理事)	香川
8		国際協力ワークショップⅣ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
5	6月18日	国と国とのつながりと問題のかかわり を考える・国際協力ワークショップⅢ	グローバルな時代において、なぜ、貧困は無くならないのかについて、貿易ゲームを通して考えます。	石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
6					
11	6月25日	SDGsとESD	アフリカ・モザンビークで行われている草の根レベルの国際協力活動の実態やESD(持続可能な開発のための教育)の意義を学び、SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)や私たちの暮らしとのつながりを考えます。	竹内よし子(特定非営利活動法人えひめ グローバルネットワーク、四国NGO ネットワーク・代表)	愛媛
12		国際協力ワークショップⅥ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		
13	7月2日	日本を伝えよう!	短期交換留学生との交流を予定しています。留学生が日本を理解するのに何が必要かを、実践を交えて考えます。	石筒覚(高知大学地域協働学部・准教授)	高知
14	7月9日	私たちができる国際協力とは?	現在日本では、民間企業もCSRなどを通じて積極的に地域協力、国際協力に参画しており、また、個人でもクラウドファンディングなど、様々な形で協力を行うことが可能になっています。これらの現状をふまえて、これからの協力のあり方考えます。	梶英樹(高知大学地域コーディネータ・ 講師)	高知
15		国際協力ワークショップⅦ	上記の講義内容に関する少人数ワークショップとプレゼンテーション		